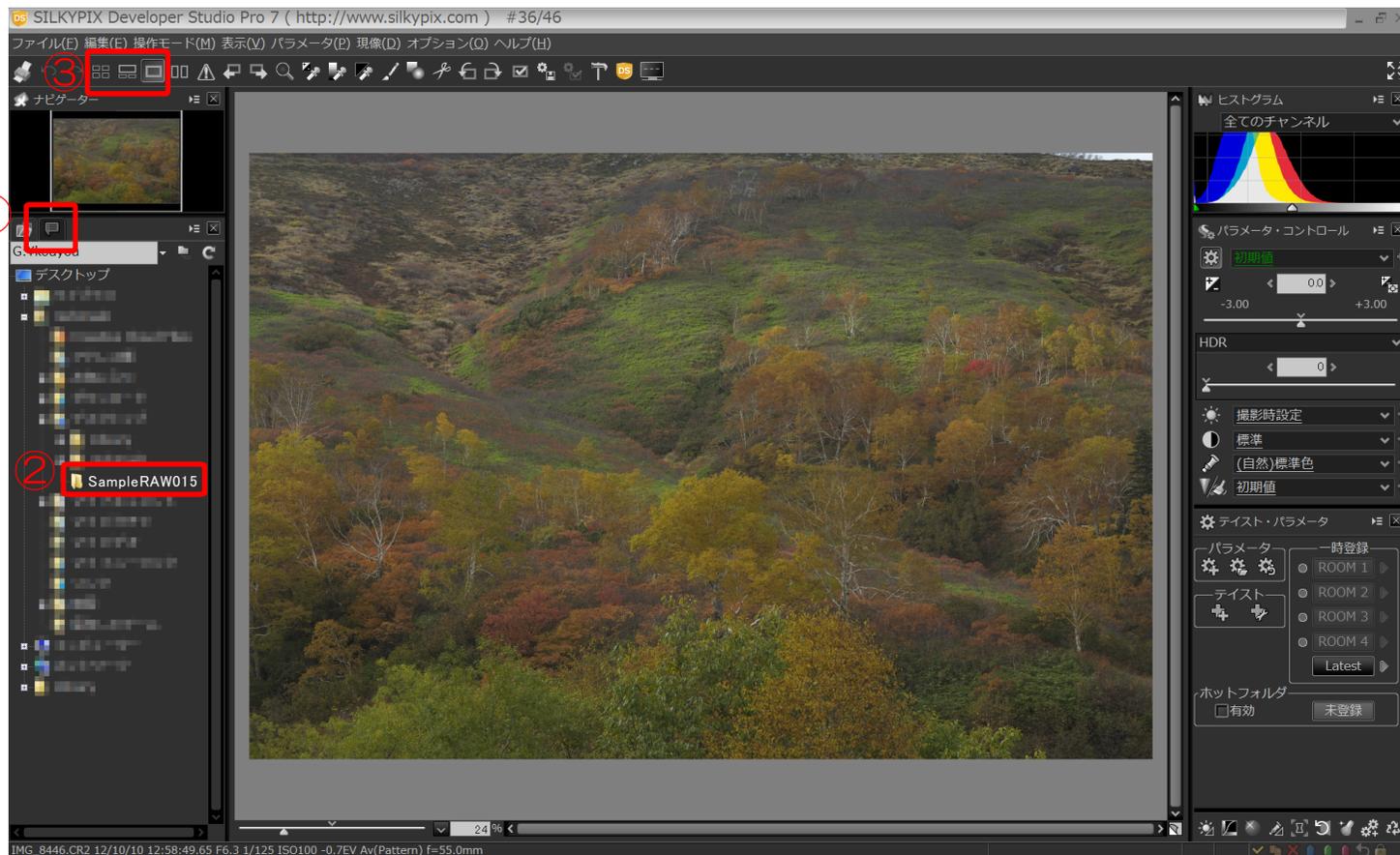


SILKYPIX Developer Studio Pro7 を使用した RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

1. RAW データを開く

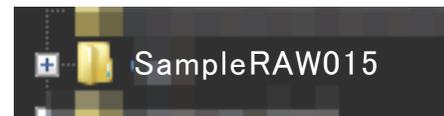


●フォルダーを開く

SILKYPIX はフォルダー単位で RAW データを開くことができます。



①フォルダーツリーアイコンをクリックしてフォルダ一覧を表示します。



②フォルダーツリーからダウンロードした RAW データのあったフォルダを選択すると開きます。

③表示モードを切り替える

サムネイル表示



フォルダーの中のデータを縮小版で一覧表示します。

コンビネーション表示



縮小表示と拡大表示を同時に表示します。

プレビュー表示

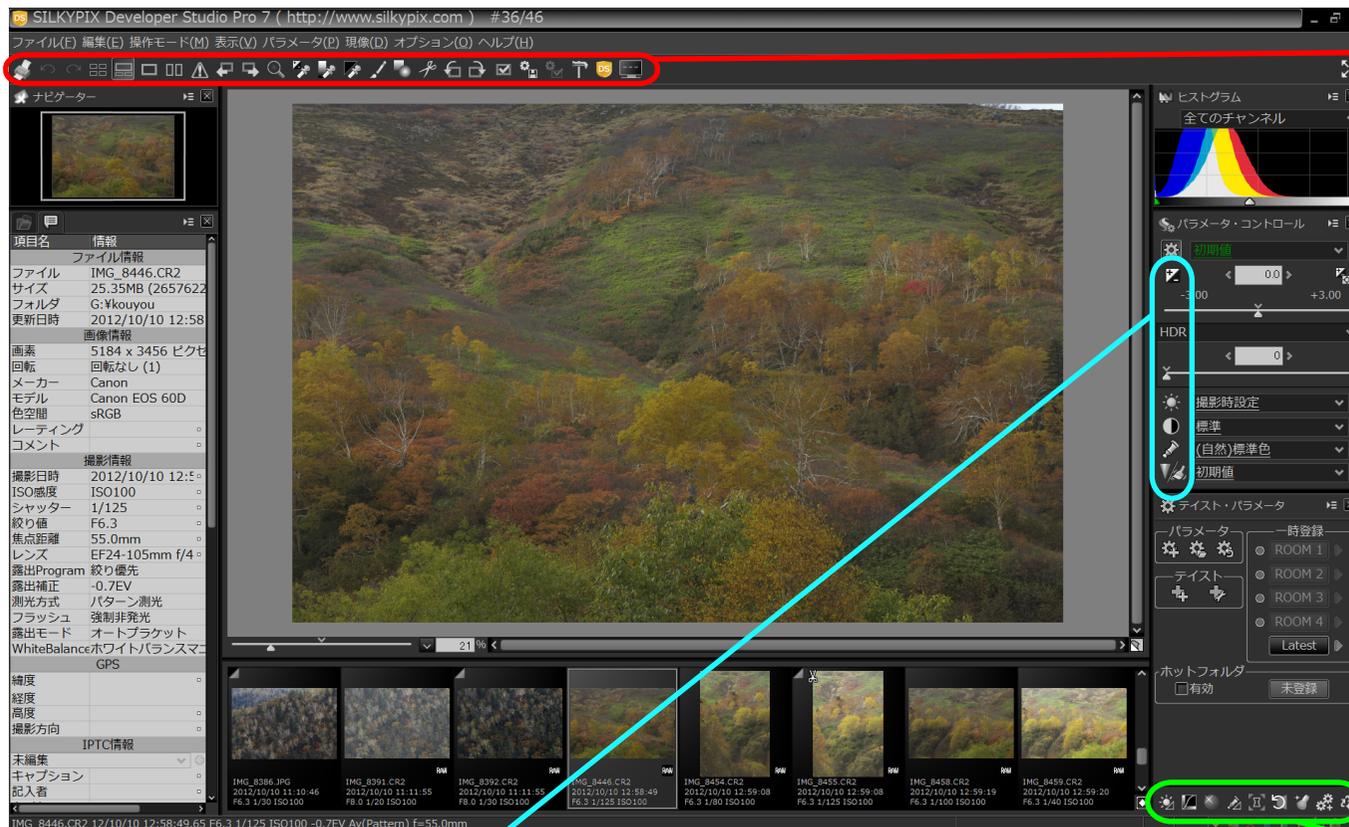


サムネイル表示で選択されたコマを大きく表示します。

SILKYPIX Developer Studio Pro7 を使用した RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

2. 画面構成



ツールバーでよく使う機能

- 印刷
- 画面表示切替
- ハイライト、シャドウ警告など
- ゴミ取り
- 部分補正
- トリミング
- 90度回転
- JPEG または TIFF に変換(1コマ現像)

メインコントロール

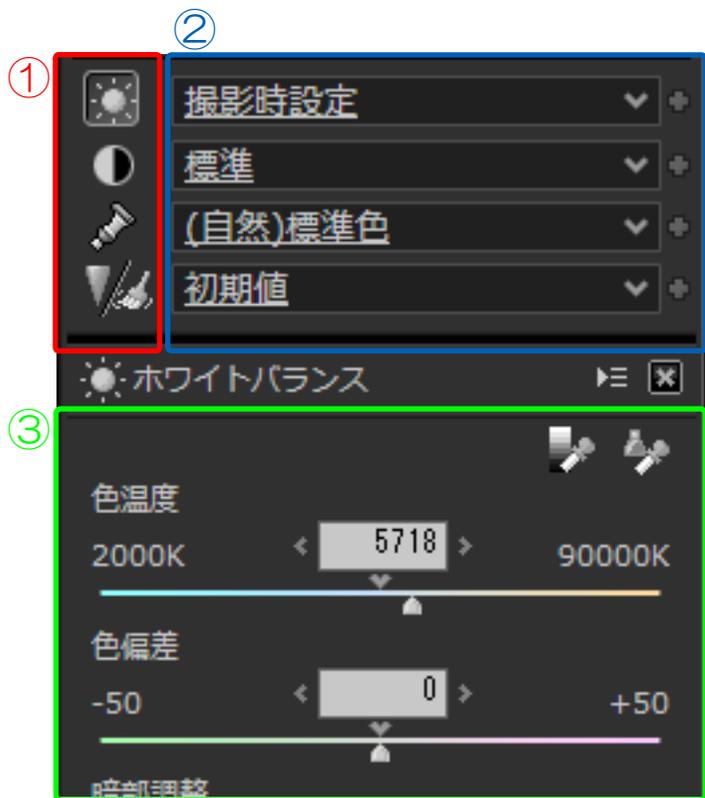
- 露出
明るさの調整
- ホワイトバランス
全体的な色合いの調整
- 調子
コントラストの調整
- カラー
鮮やかさの調整
- シャープ／NR
シャープネスとノイズリダクション

サブコントロール

- WB 微調整
色合いの微調整
- トーンカーブ
コントラストの調整
- ハイライトコントローラ
白とびした部分の調整
- ファインカラーコントローラ
特定の色ごとの調整
- レンズ収差補正
歪みや周辺減光の補正
- 回転／デジタルシフト
傾きや遠近感の補正
- 効果
美肌補正とノイズ付加
- 現像設定
AdobeRGB や sRGB の設定
- 編集履歴
任意の作業まで戻る。

RAW 現像基本調整

3. メインコントロール



①カテゴリ選択アイコン

アイコンを選択すると③のタブページが切り替わります。

②テイスト

あらかじめ登録されている設定をメニューから選んで調整を行います。おおまかな調整をここでやり③のスライダーで微調整できます。



③タブページ

①で選択したカテゴリの詳細な調整を行います。主に「スライダー」と呼ばれるコントロールでつまみを左右に動かして調整を行います。

●スライダーの初期値マーク



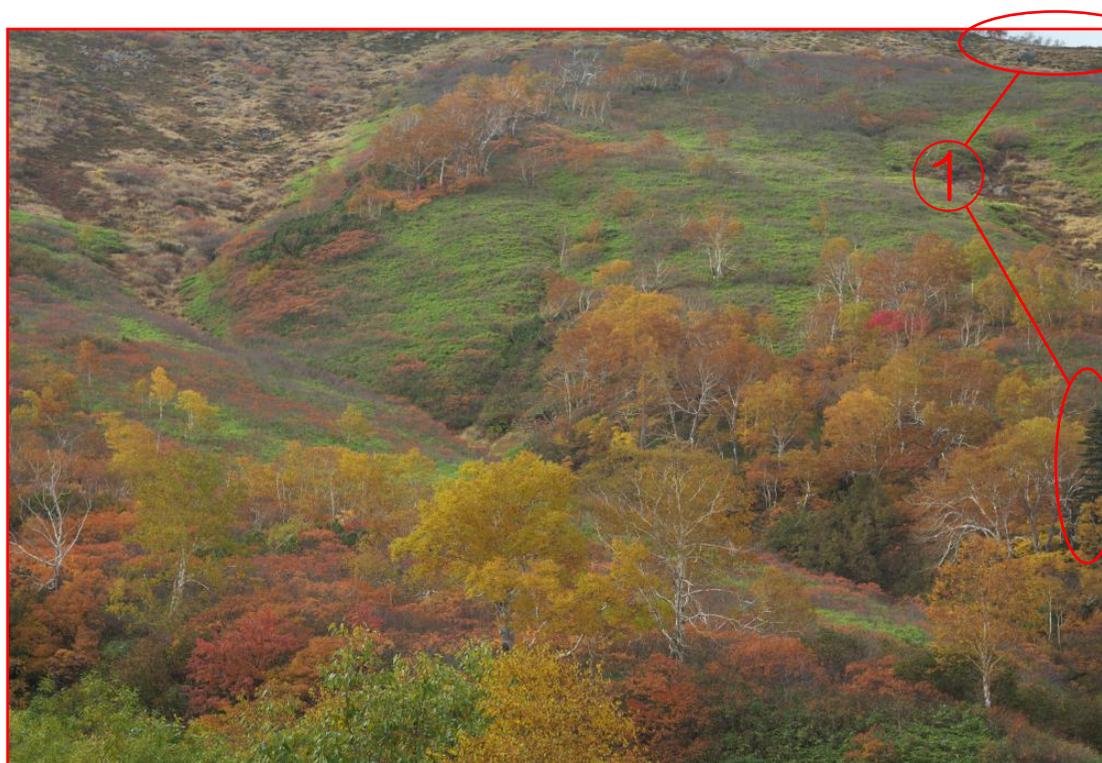
データを開いた時の値を示すマークとなります。最初の状態がわからなくなった時の目印になります。



RAW 現像基本調整

4. 調整前

データを開いたままの状態です。まずここで調整の目標を決めます。



① トリミングをして整える

写り込んでしまった不要物をトリミングで切り取り構図を決める。

② コントラストを上げて紅葉を引き立たせる

全体的に薄暗くコントラストの低い霞んだような写真になってしまったので、もっと鮮やかにしたい。

②



RAW撮影のメリット

RAWデータで撮影しておく、その場で納得がいく設定ができなくても、後でじっくり調整ができます。

せっかく行った絶景の写真も失敗が減ります！

JPEG 写真を後で調整しようとする、圧縮され一度仕上がったデータを調整するので画質が劣化してしまいます。

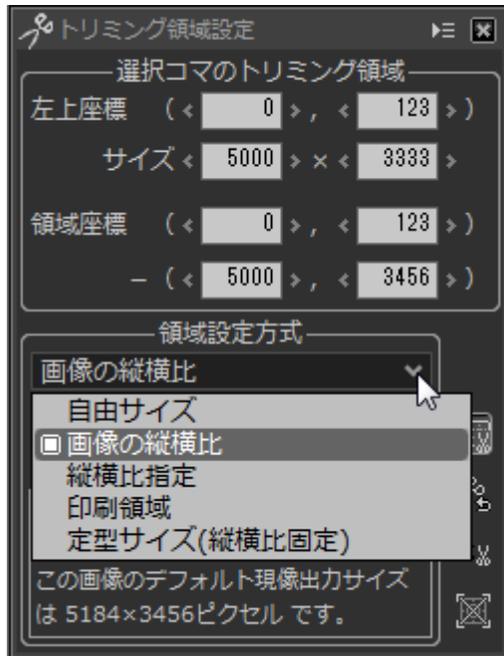
RAW 現像基本調整

5. トリミングを使用

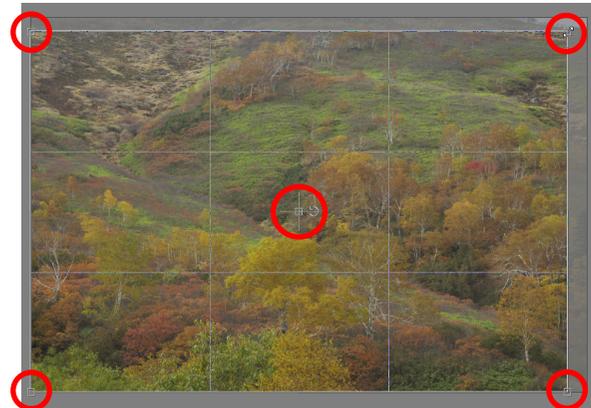
『トリミング領域設定』ボタン



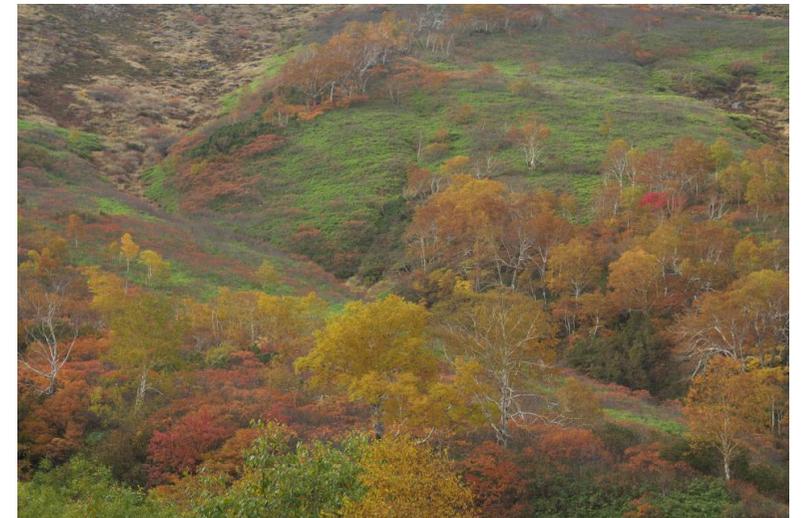
ツールバーにある“はさみマーク”の『トリミング領域設定』ボタンを押し、トリミングする画像の比率を『領域選定方式』の中から選びます。



<領域設定方式>
今回は『画像の縦横比』で
トリミングしました。



○部分のハンドルをマウスで操作し
トリミング領域を指定します。



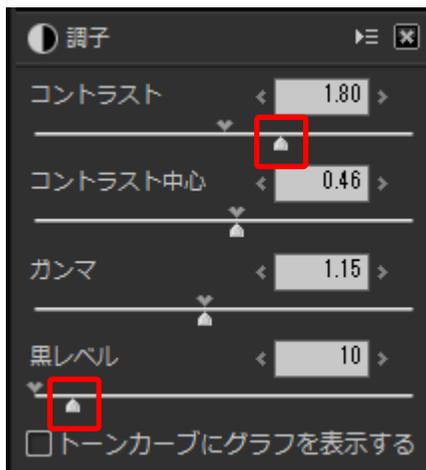
トリミング領域設定

トリミング領域の設定を行う場合、最初に<領域設定方式>によってトリミング領域を設定する方法を決定してください。自由な矩形で設定することも可能ですが、縦横比を固定することで出力する目的に応じたトリミングを行うことができます。

RAW 現像基本調整

6. コントラストを上げる（調子）

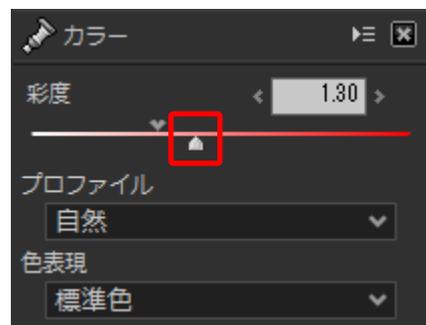
コントラストを上げる方法はいろいろありますが一般的には『調子』という機能でコントラストを調整します。



コントラスト : 1.80
黒レベル : 10

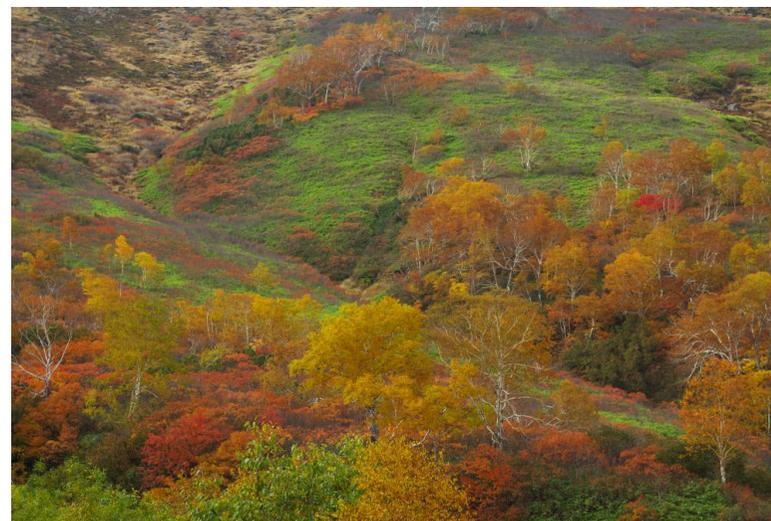
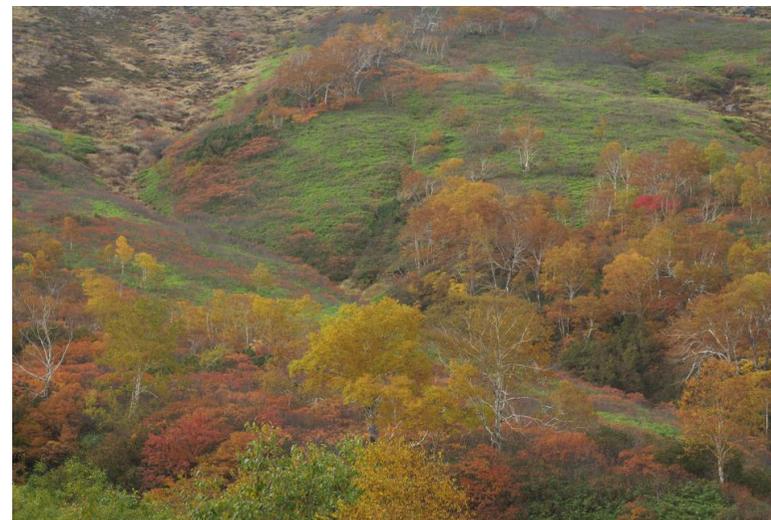
「コントラスト」を上げると明るい部分はさらに明るく、暗い部分はさらに暗く表現できます。

「黒レベル」は暗い部分をさらに黒く締める効果があります。



彩度 : 1.30

鮮やかさを付けたすために「彩度」を少し足します。



「黒レベル」とは

黒として表現するレベルを決定するもので、このパラメーターを大きくすると黒が引き締まります。逆光撮影で全体的に眠い感じになった写真や、今回の写真のように風景などが空気の乱反射の影響でもやっとした写真に効果を発揮します。

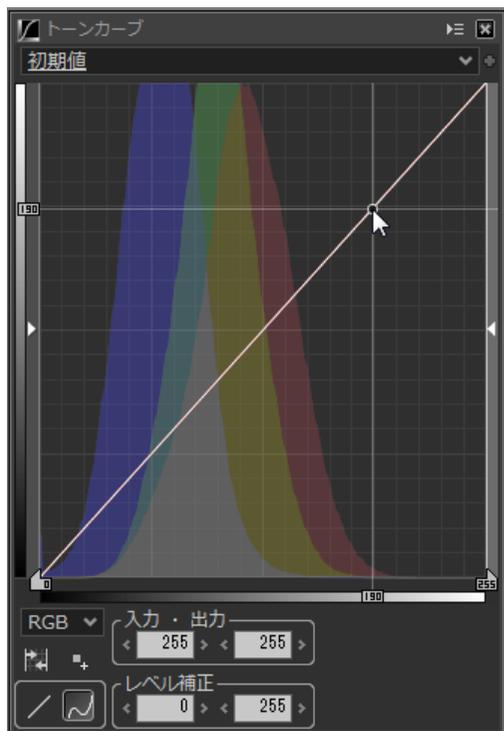
RAW 現像基本調整

7. コントラストを上げる (トーンカーブ)

先程は『調子』でコントラストを上げましたが、次は『トーンカーブ』を使用しコントラストを上げてみましょう。

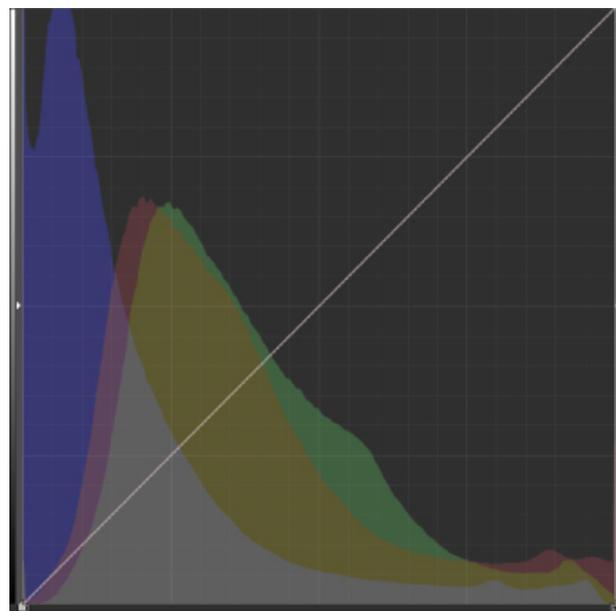


トーンカーブ



真ん中の線をカーソルでクリックしたまま動かして調整します。離すと線上に点ができその場所で固定されます。

トーンカーブの見方



暗(黒=0)

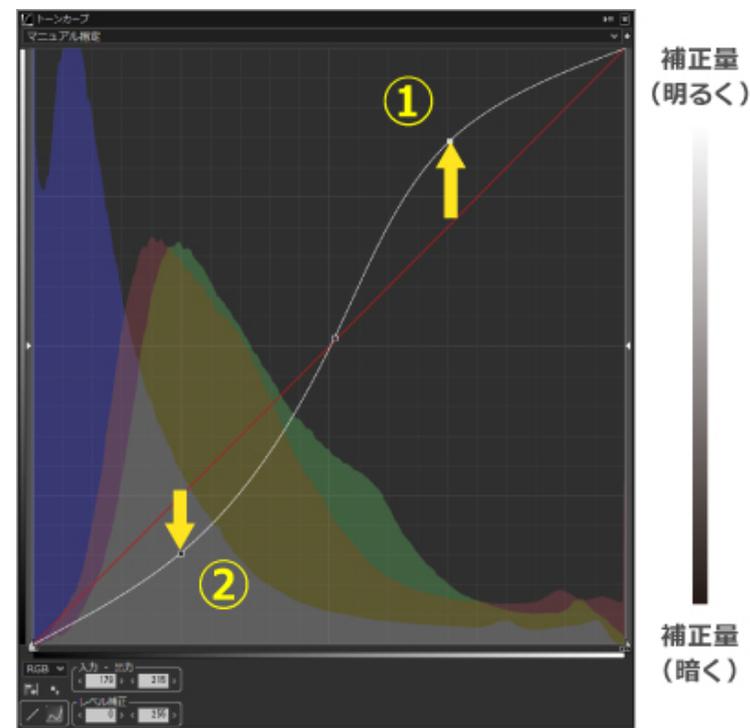
明(白=255)

図の中にある、山なりになっているものがヒストグラムと言い、右に行くほど明るく、左に行くほど暗くなっています。山の高さがそれぞれの明るさの情報量(ピクセル数)です。

情報量(多)

情報量(少)

こちらはトーンカーブを調整した図です。真ん中の赤いラインを基準に赤いラインより上に動かすと明るく、下に動かすと暗くなります。



補正量
(明るく)

補正量
(暗く)

暗(黒=0)

明(白=255)

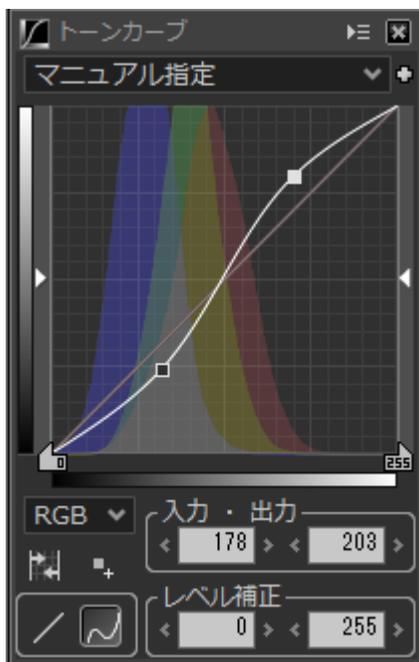
①は画像の中にある明るい部分をより明るくしています。
②は画像の暗い部分をより暗くしていることとなります。

RAW 現像基本調整

8. コントラストを上げる（トーンカーブ）

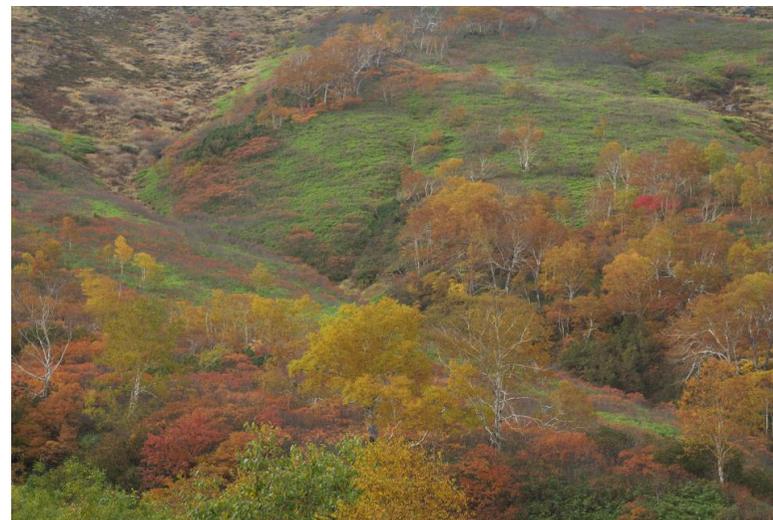
では今回の写真で調整してみます。

先程の図のようにコントラストを高くするということは明暗の差が大きいほど高コントラストになりますので明るい部分をさらに明るくし、暗い部分をさらに暗くします。



S字カーブ

山肌や林の影がより浮き出てきたので写真に立体感が出ます。明るい部分はさらに明るくなっているので彩度を使わずに鮮やかな写真に仕上げることができます。



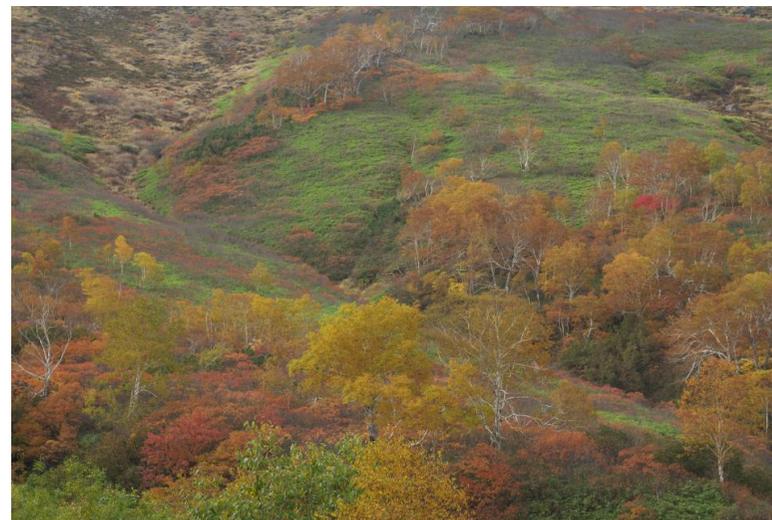
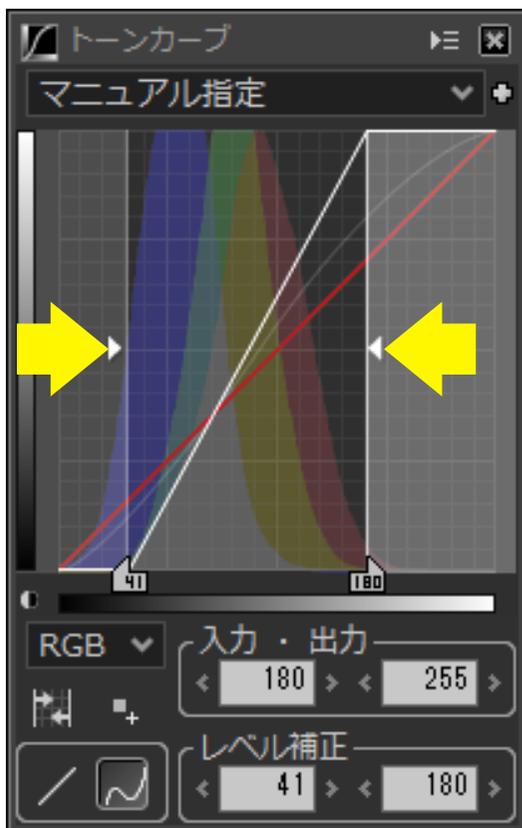
S字カーブと逆S字カーブ

上記のようなS字型のトーンカーブは、明るい部分をさらに明るくし、暗い部分をさらに暗くした硬調な写真にすることができS字を逆にした逆S字型のトーンカーブは、明るい部分を暗くし、暗い部分を明るくした明暗差の少ない軟調な写真に仕上がります。

RAW 現像基本調整

9. コントラストを上げる（レベル補正）

コントラストが低い軟調な写真の特長は、
ヒストグラムの明るい部分と暗い部分に情報が少なく、
真ん中の中間調だけで構成されていることが多いです。



今回の写真のヒストグラムを見てみると明るい部分と暗い部分の情報が少ないのが分かります。

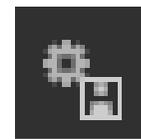
このような写真の時は、黄色丸のつまみをクリックしながらスライドさせ情報の少ない所を埋めます。そうすることにより明るい部分の抜けが良くなり、暗部も引き締まります。

RAW 現像基本調整

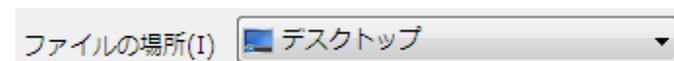
サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

10. 現像する

JPEG や TIFF に書き出す



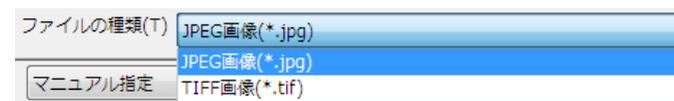
① 1 コマ現像ボタンを押すと保存のダイアログが表示されます。



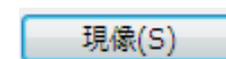
② ファイルの保存場所を選択します。



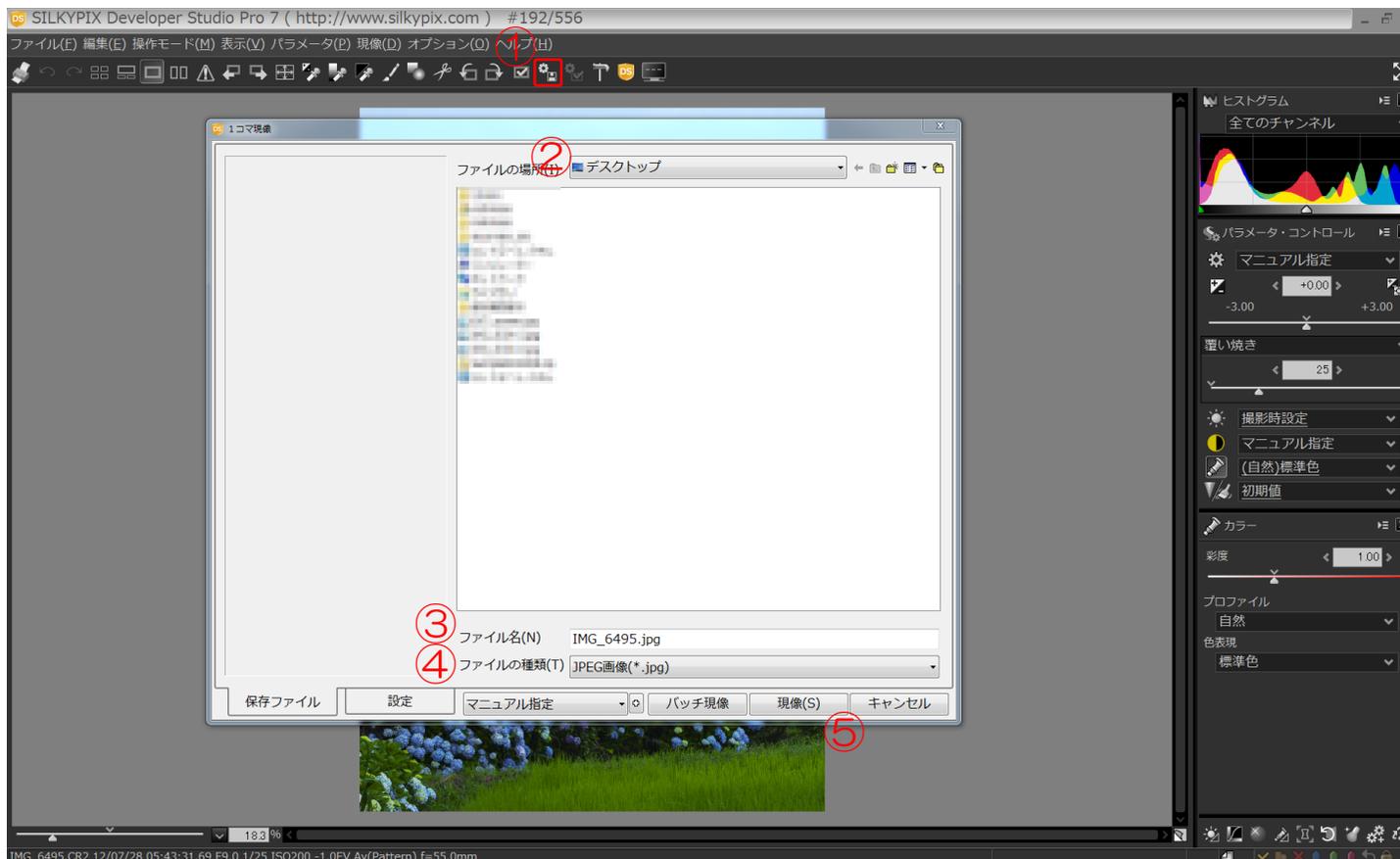
③ ファイル名を変更する場合は入力します。



④ ファイル形式で JPEG か TIFF を選択します。



⑤ 現像ボタンを押すと RAW データから JPEG または TIFF の変換が始まります。



現像とは？

SILKYPIX では RAW データから JPEG や TIFF に変換する事を「現像」と呼んでいます。TIFF は 8bit または 16bit が選択できます。

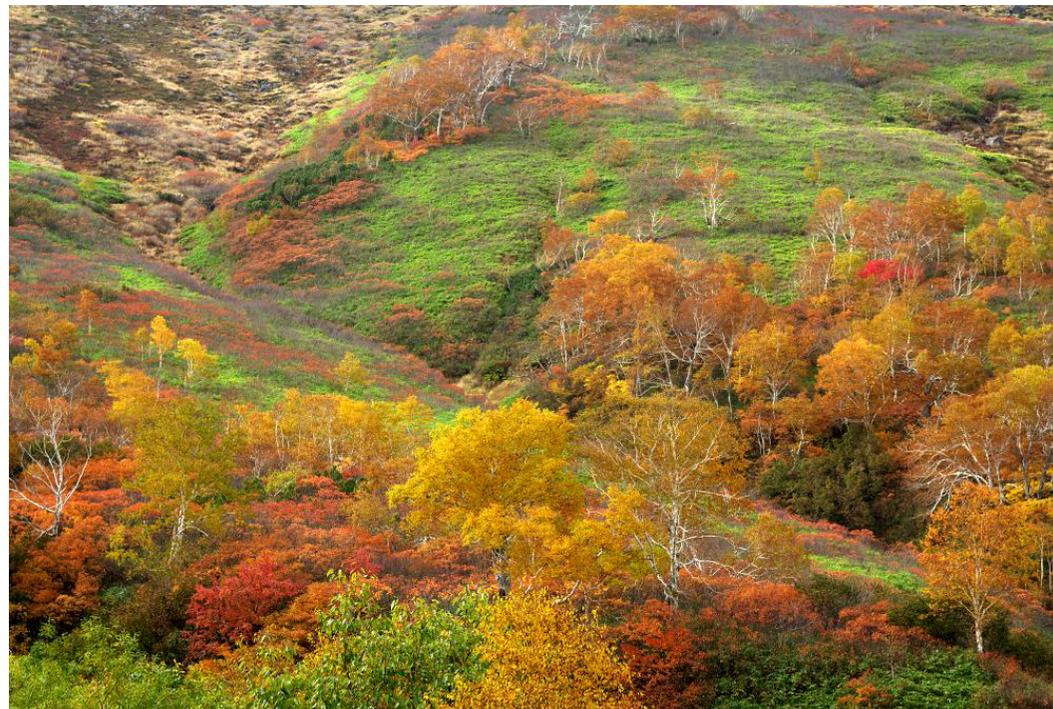
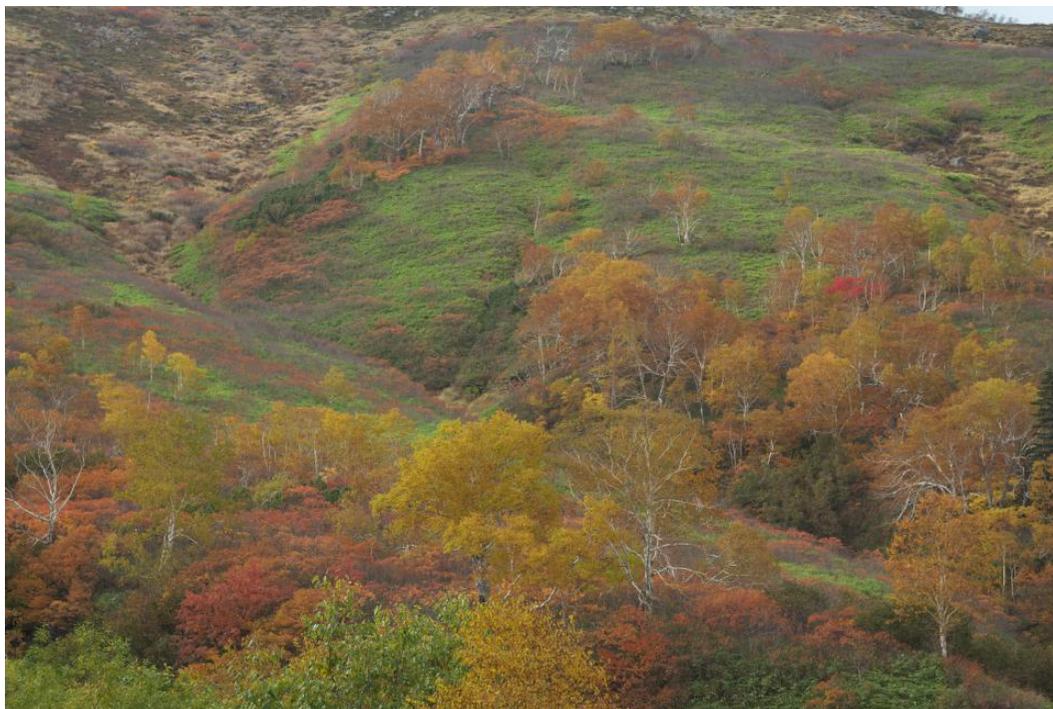
SILKYPIX Developer Studio Pro7 を使用した

RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

11. 調整前／調整後

今回の調整はトリミングとコントラストの調整でしたが、トーンカーブを使いこなせると目的に合った調整を思い通りに行うことができますので、ぜひ今回の調整を踏まえ皆さんも挑戦してみてください。



今回の調整項目を参考に、皆さんの感性でいろいろと調整してみてください。